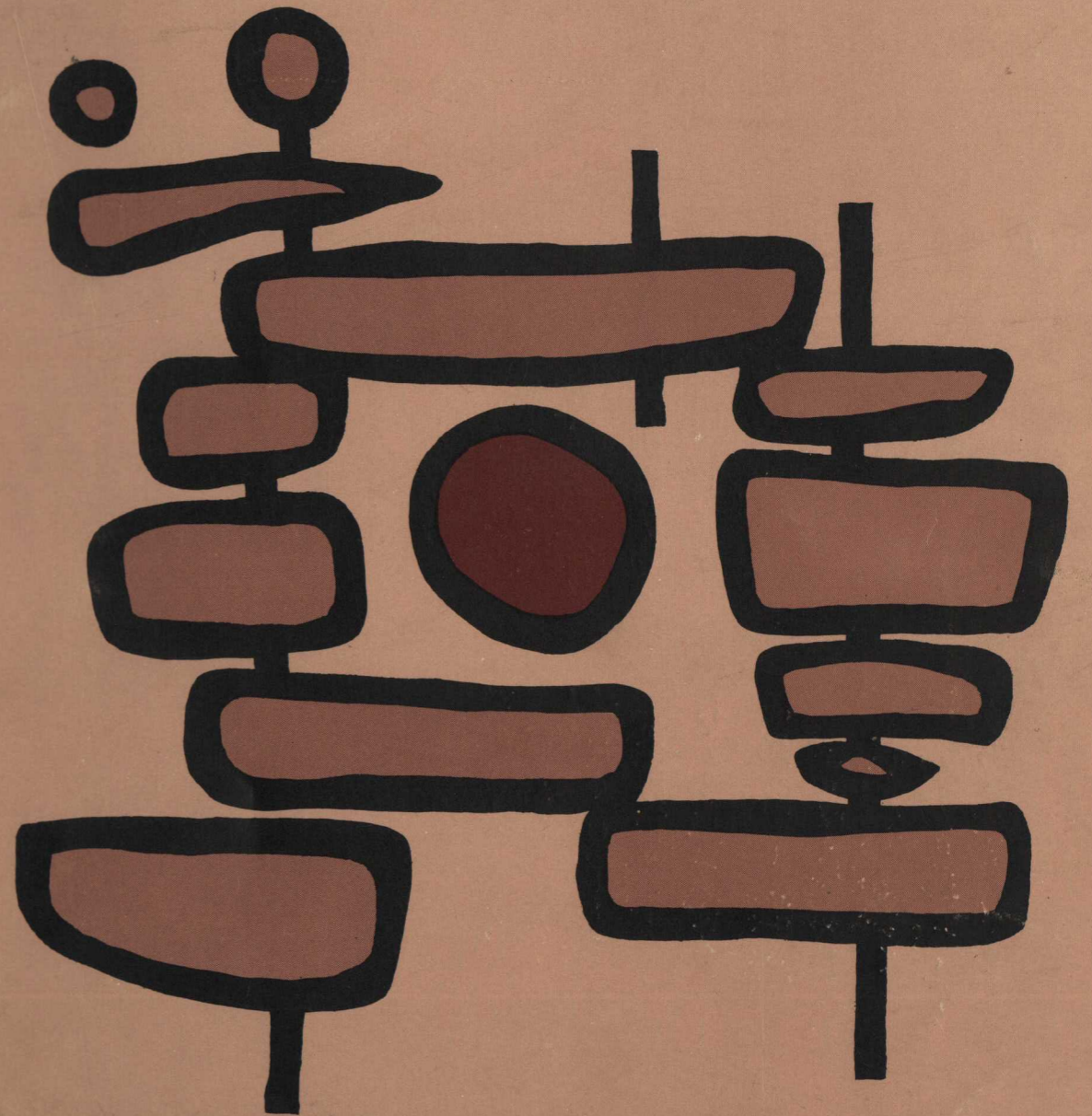


学校法人＝尚志学園  
日本女子工業高等学校  
福島県郡山市大槻町坦ノ腰2  
〒963-02  
TEL024901(大槻)105



日本女子工業高等学校  
学校法人＝尚志学園  
1969＝学校案内



一 私達は女性として豊かな  
 技術者となることを誓います  
 一 私達は社会正義と人生の  
 幸福のために努力することを誓います

誓いのことば

一 私達は祖国と郷土を真に  
 つくすことを誓います

日本女子工業高等学校の歌

作詞 佐藤信

一 山脈清き 阿武隈の

影と宿せよ 美女の池

古き伝説は 乙女等の

夢を記して 今ここに

科学の園は 開けたり

二 時代の期待 身に負いて

郷土を 我の誇り

真理の海は 限りなく

この一瞬は 精をめて

永遠の命は はぐくまむ

三 苦難の中に 希望あり

恨みの果は 光あり

女子道は 叶わしむ

かみす技術の 光は

行く千と 照らす此の道

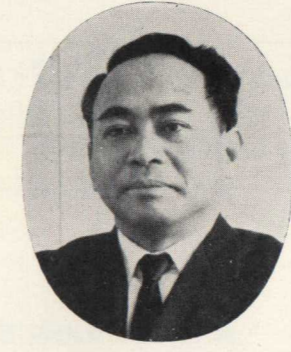
四 嵐を耐えし 花 蕾

世にまき出す 日もありは

我が志は 尚かて

幸せの道 拓くべし

あ、栄えあれ 女子工業



校長 佐藤 信

略 歴

旧制二高文科卒  
 東京帝国大学法学部卒  
 公民館長、短大講師、教育  
 委員歴任  
 県社会教育、県選挙管理委  
 員会関係講師  
 尚志学園理事長  
 福島高等予備校校長  
 県南計算センター副社長  
 著者「農村夜話」 他数編

日本最初の女子工業高等学校として本校が発足してから早くも6周年を迎えるまでに成長しました。本校の目的は現在産業界に於いて最も必要とされている中堅幹部技術者を養成することにあります。特に緻密な頭脳、繊細な感覚、忍耐強い性質が要求される部門、即ち工業化学、電子技術、製図デザイン等の分野に於いては女性技術者の出現を待望して居ります。この傾向は昭和43年度卒業生に対する求人が30倍を越え、大卒と同等の、或いはそれ以上の待遇で就職している実績が明白に物語っています。

又一方、従来の普通女子高等学校の卒業生の7割迄が就職を希望しているにも拘らず、その進出範囲はせいぜい事務員、店員に限られ、更に今日全国の家婦人の約5割が家庭内職又は就職をして居りますが、その内容はこれといった技術を持たないため、ビニールの袋あみ、造花手芸品等の単純なもの又は雑役、家政婦等しかなく、その収入も極めて低いものであります。

本校はこれ等従来の女子教育の欠陥を反省し、その身につけた工業技術によって将来一家を支え得るに足る経済力を与えて行こうと云うのが学校創設のねらいであります。本校は生徒職員1,500名を容する学園に成長して参りましたが、本校のこうした在り方は今や全国的に反響を呼び、女子工業高等学校設立の気運は全国各地にほうはいとして起りつつあります。

今後共、尚一層の御鞭撻のほど衷心よりお願い申し上げます。

本校6年の歩み

日本女子工業高等学校設立の気運は昭和37年の秋にはじまる。従来の女子高等学校の在り方がともすれば花嫁教育に終始し、一朝有事の際、一家を背負う事は勿論自分一人を養う事すら困難な現在の教育を反省し、その身につけた工業技術により、女性の生涯により大きな経済力を与えることを目標として本校設立は目論まれたのである。然し、設立者たる佐藤信校長は、福島市に福島高等予備校を経営してはいても、その資産は殆んどなく、全く孤手空拳を以てこの前例のない事業に取り組んだと言っても過言ではない。

従って前人未踏の女性技術者の道を開拓せんとする烈々たる建学精神、これのみがこの学校の基本財産であったと言う事が出来る。郡山市大槻町の草深い田園の一角に貧弱な木造二階建の校舎が出現したのが昭和39年4月、入学式は青空の下で第一回入学生143名を迎えて挙行された。爾来6ヶ年、校長を中心とする学校造りは全員が手を豆だらけにして、スコップを握り血と汗の努力の中に驚異のスピードで進められた。今や校舎は延7,200平方メートルを越え、施設設備費の総額は約4億5千万円、生徒数も1,100名の多きを算するに至った。本校の特殊な専門教育も次第に産業界の注目する所となり早くも明春卒業生に対する求人が殺到して居り、その初任給の如きも2万8千円前後という女子短大卒を上回る好条件が呈示されている。又、一方精神教育、人格教育も厳たる校風の下に校長を父親とする家庭学園の雰囲気の中に養われつつあり、技術者としてのみならず将来の良き妻、良き母、良き社会人としての練成が日夜たゆみなく行なわれている。昨年約700平方メートルの実習工場、3,500平方メートルの鉄筋三階建の寄宿舎がすでに完成し、全国に冠たる女子技術教育の殿堂は益々光彩を放っている。

## 本校の概要(1)

### 本校の教育方針

1. 科学技術を通して人類と祖国に奉仕する崇高なる使命を自覚せしめる。
1. 技術教育と人格教育を渾然融合せしめ人間として豊かな女性像を創造する。
1. 社会の正義と個人の幸福を均しく追求する精神を養わしめる。

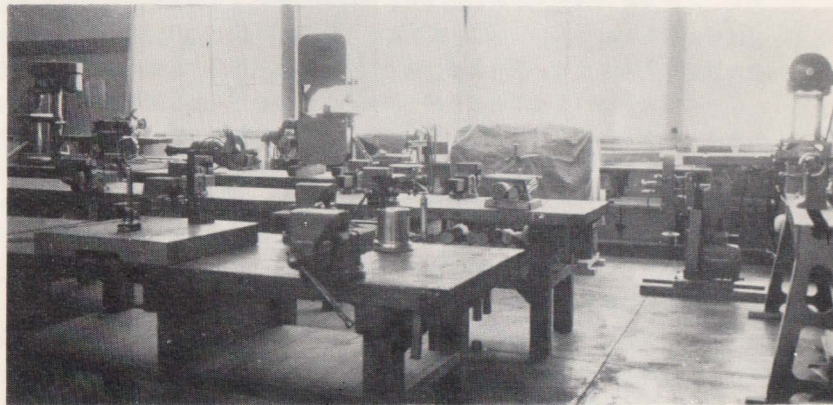
### 本校の設置学科

- |            |                                   |
|------------|-----------------------------------|
| 1. 製図デザイン科 | { 設計計測コース<br>写真印刷コース<br>工業デザインコース |
| 1. 電子技術科   | { 電子計算機コース<br>電子機器コース             |
| 1. 工業化学科   | { 染色コース<br>衛生試験<br>化粧品コース         |
| 1. 技能科     | 電子技術コース                           |
| 1. 通信教育部   | { 電子技術科<br>製図デザイン科                |

工業試験実習室



本校は、女性特有の繊細、緻密な感覚等の技術的適性の上において上記の各学科を設置している。最近、工業界における技術革新は著しく、これに応ずるため、本校においては最新の施設、設備が年々充実強化されつつあり、全国屈指の設備を有している。又教育内容も独自の研究の上に構成し、各学科とも第2年次より専門コース制により、それぞれの専門分野に於ける実際の技術の育成に力を注いでいる。指導方法の上では、少人数制をとり、工業科目の総授業時数の40%を実験、実習に充て体験的学習を通して学習効果の向上を期している。



工作実習室

### 本校のモットー

- 一、女性として豊かな技術者に。
- 一、教育は一瞬にして永遠である。
- 一、志を尚ぶ者は、必ず成る。

## 本校の概要(2)

1. 就職
2. 奨学金制度
3. 校内アルバイト
4. 生徒寮
5. 行事
6. クラブ活動
7. 学園キャンプ場

卒業後は高校卒の最高給を以って一流会社に就職を斡旋する。  
 (注)年々、技術者の出現を待望する声が高まり、昭和44年3月の本校卒業生の給与は普通高校卒の1.2~1.5倍となっている。

2. 奨学金制度  
 学園独自の給費制度(月額2,000円)及び各企業との提携による委託奨学生制度(月額3,000~5,000円)があり、毎年60名前後の生徒に支給されている。

3. 校内アルバイト  
 苦学生及びアルバイトを希望する生徒には、校内アルバイトを斡旋し電子機器組立等により学費経減の方途を講じている。

4. 生徒寮  
 530名収容の寮(鉄筋三階建、及び木造二階建)があり、遠隔地よりの入学生は、全員入寮することができる。

5. 行事  
 新入学生に対する“国立磐梯青年の家”での2泊3日の研修合宿(4月)にはじまり、5月の徒歩遠足、本学園の猪苗代浜路キャンプ場での各クラス、クラブのキャンプ、秋の学園祭、体育祭、修学旅行、冬のスキー教室等、厳しい校風の中にも楽しい高校生活が営まれている。

6. クラブ活動  
 異色の剣道部、ブラスバンド部、自動車クラブ、アマチュア無線クラブ等の他、体育系はバレー、バスケット、テニス、卓球、音体、陸上、ソフト、サイクリング、ワンダーフォーゲルがあり、文化系は各科に結びついた写真、美術、化学等の他演劇、茶華道、英語、J.R.C等のクラブがあり、毎日盛んに行なわれている。

7. 学園キャンプ場  
 猪苗代湖畔(郡山市湖南町浜路)に広さ1,800平方メートル、バンガロー(50人収容、二棟)他炊事場、洗面所、水道を完備した学園浜路キャンプ場があり、毎年6月1日にオープン、以後各学年、各クラス毎の野外授業や、各クラブの合宿、更に夏休みには友人同志でのキャンプなどに利用されている。このキャンプ場一帯は水清く、対岸に沈む夕日の美しさは他に類がない。



### 校章の由来

本校の校章は旧制第二高等学校の校章であった蜂の徽章を承継し、その偉大なる教育の伝統を再現し、誠実と勤勉を以って人生を開拓せんとする志を象徴しているものである。



クラブ活動

生徒寮(学習風景)



# 本校の概要(3)

## 生徒概況

	製図デザイン科	電子技術科	工業化学科	計	技能科	総計
3年	設計計測コース 48	電子計算機コース 31	染色コース 31	293	—	293
	写真印刷コース 28		衛生試験化粧品コース 61			
	工業デザインコース 26	電子機器コース 68				
2年	設計計測コース 93	電子計算機コース 35	染色コース 87	338	電子技術コース 88	426
	写真印刷コース 33		衛生試験化粧品コース 62			
	工業デザインコース 28	電子機器コース 62				
1年	157	144	48	349	電子技術コース 37	386
計	413	340	227	980	125	1,105

## 生徒出身分布

出身地	学校数	人数	出身地	学校数	人数	
福島県	197校	952名	北海道	1校	1名	
内	県北	44	150	新潟県	4	4
	郡山	29	286	群馬県	1	1
	県南	58	335	茨城県	7	9
	会津	39	108	埼玉県	4	4
	いわき	17	49	東京都	2	2
訳	相双	10	24	静岡県	1	1
	宮城県	57	113	岐阜県	1	1
秋田県	1	1	福岡県	1	1	
岩手県	6	6	ベトナム	2	2	
山形県	5	5	インドネシア	1	1	
青森県	1	1	合計	292	1,105	

# 本校卒業生の進路

製図デザイン科 (D)	設計計測コース……	機械設計、建築設計、品質検査、工程管理部門
	写真印刷コース……	印刷関係の企画、編集、デザイン、写真植字機オペレーター
	工業デザインコース……	各種機械、器具、生活用具類、紙器、パッケージ、店舗装飾のデザイン部門
電子技術科 (E)	電子計算機コース……	計算センター、各企業電子計算機オペレーター、プログラマー、電子計算機生産検査、調整部門
	電子機器コース……	電子機器設計、研究、検査、調整、工程管理部門
工業化学科 (C)	染色コース……	染色試験、研究、検査、染料研究部門
	衛生試験化粧品コース……	医薬品、化粧品、食品、顔料、石油化学等各企業の新製品開発及び研究、検査

## 主な就職先(順不同)

(株)日立製作所・東海	住友金属鉱山(株)	E	東菱薬品工業(株)	C
・横浜・武蔵各工場	千住金属工業(株)	D.C	明星食品(株)中央研究所	C
日立電子(株)	コバル精密(株)	D.C	精工化学(株)	C
東京芝浦電気(株)・小向	北東衡機(株)	D	根本特殊化学(株)	C
・深谷・玉川各工場	福島製鋼(株)	D	大洋化学工業(株)	C
新日本無線(株)	林精器製造(株)	D	東華色素化学工業(株)	C
日本無線(株)	金門計器(株)	C	(有)東京衛材研究所	D.C
日本電気(株)・府中	金門石英工業(株)	C	住友ベークライト(株)	C
東京重機工業(株)	大同信号(株)	E	中央研究所	C
キャノン(株)・本社	三浦印刷(株)	D.E	日本オイルシール工業(株)	D.C
・取手工場	(株)集美堂	D	大起ペイント(株)	E.C
東菱電子工業(株)	(株)大熊整美堂	D	大内新興化学(株)	C
富士通(株)小山工場	図書印刷(株)	D	日本全業工業(株)	C
沖電気工業(株)	(株)光陽社	D	福島化成(株)	C
池上通信機(株)	高山写真印刷(株)	D	福島くみあい飼料(株)	C
(株)タムラ製作所	(株)恒陽社印刷所	D	(株)ビデオ・プロモーション	D
東京コスモス電機(株)	三晃印刷(株)	D	(株)早川特許事務所	D
(株)三ツ葉電機製作所	(株)厚徳社	D	三和建物(株)	D
(株)ゼネラル	千代田グラビア印刷(株)	D	(株)殊産相互銀行	E
三洋電機(株)	プロセス印刷(株)	D	(株)扇屋木工所	D
早川電機(株)	いずみ印刷(株)	D	アリガ(株)	D
(株)田村電機製作所	吉田印刷機材(株)	D	錦興業(株)	D
富士電機製造(株)	日本ハイバック(株)	D	A.M.A盟建築設計事務所	D
三菱電機(株)郡山製作所	不二紙工(株)	D.C	薨建築設計事務所	D
サンスイ音響(株)	鐘淵紡績(株)・南千住	D	さとう建築設計事務所	D
タクト電機(株)郡山工場	・化粧品・スポンジ	C	(有)クロネコ広告社	D
二宮電気通信工業(株)	・鈴鹿・津島工場	C	(株)アンデザイン工房	D
山本電気工業(株)	日清紡績(株)	D.C	(株)クローバー	D
(株)荏原製作所	東京染惣工業(株)	C	東北実業(株)	D
柳河精機(株)	浜野繊維工業(株)	C	(医)寿泉堂病院	C
(株)日本気化器製作所	帝国繊維(株)	C	(医)土屋病院	C
(株)ヤシカ	松本産業(株)	D	サトウ医腸科病院	C
車体工業(株)	日本無機繊維(株)	C	池田内科病院	C
コロナ工業(株)	(株)レナウン	C	(医)郡山病院	C
浜井産業(株)	旭染色工業(株)	C	(株)東京計算センター	E
関東精器(株)	千本松毛晒工業(株)	C	(株)群馬電子計算センター	E
リズム時計(株)	飯能繊維(株)	D	(株)東北経営計算センター	E
(株)三豊製作所	パラマウント硝子工業(株)	C	イワキ薬品(株)I.K.K	E
東和冶金(株)	日本ユニバック(株)	D	センター	E
(株)優光伸銅所		C	(株)県南電子計算センター	E

# 製図デザイン科

製図デザイン科は、設計製図とデザインの技術を修得し、中堅技術者として産業と文化の向上に寄与する素質と能力を養うことを目的としています。

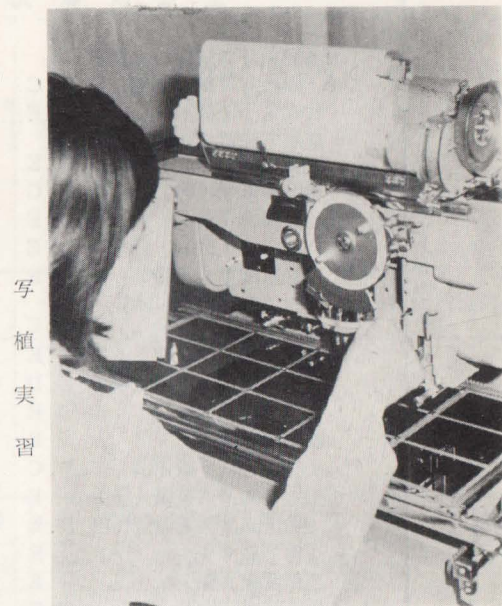
私達が日常生活を快適に営むためには、まずものを作るデザインが必要となります。そのためにはあらゆる機械や建築物の設計や製図、さらに計測の技術が必要とされます。また、使いよく、美しくと願うことは、使うためのデザイン——日常生活や室内装飾、展示物などの工業デザインの技術を必要としますし、さらに人に知らせるためのデザインとして広告や出版・編集・図案などの技術と共にそれらをうみ出す写真や印刷の技術が必要とされて来ます。これらの技術は私達の日常生活の向上と共に、ますます重要度を増しつつあり、女性特有のセンスや能力も必要とされて来ている。室内装飾設計士の資格も多数の生徒が取得している。

## 専攻コース

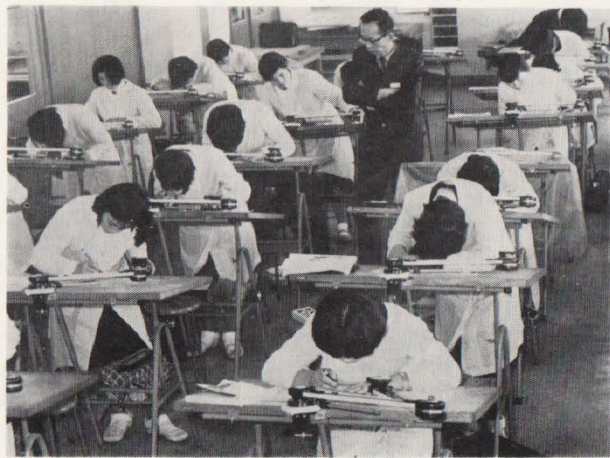
- 設計計測コース
- 写真印刷コース（商業デザイン関係）
- 工業デザインコース

## ◎進路

各会社の設計製図、トレーサー、広告宣伝会社、出版会社（編集レイアウト）印刷会社、各会社広報課、宣伝課、家具会社、写真・スタジオ、百貨店（展示・装飾・宣伝・デザイン相談、家具、室具デザイン）カメラ会社、弱電関係、自動車会社、その他



写真植実習



製図実習



生徒作品



工業デザイン実習

## 製図デザイン科教育課程

		一 般 科 目						工 業 科 目										合 計	単 位 合 計									
		国語	社会	数学	理科	保健体育	芸術(音楽)	外国語(英語)	特活	合計	製図	機械設計	応用力学	機械電気	工業計測	工業材料	電気一般			機械工作	絵画	デザイン理論	写真概論	造形	工業材料	造形計画	写真実習	デザイン実習
設計計測	一年次	3	3	5	6	3	1	3	1	25	3								2							6	11	36
	二年次	3	4	4	3	3	3	1	18	3	2	3							2	2						2	18	36
	三年次	3	2	4	3	3	3	1	16	4	3		3			2	2	4								2	20	36
	計	9	9	13	6	9	1	9	3	59	10	5	3	5	2	2	4	6	2							10	49	108
写真印刷	一年次	3	3	5	6	3	1	3	1	25	3								2							6	11	36
	二年次	3	4	3	3	3	3	1	17	2									2	2	1	2			2	7	18	36
	三年次	3	2	2	3	3	3	1	14	2		2							2	2	1				3	8	20	36
	計	9	9	10	6	9	1	9	3	56	4	3		2					6	4	2	2				5	21	49
工業デザイン	一年次	3	3	5	6	3	1	3	1	25	3								2							6	11	36
	二年次	3	4	3	3	3	3	1	17	3	3								2	2				1		7	18	36
	三年次	3	2	2	3	3	3	1	14	3	5		2						2			2				6	20	36
	計	9	9	10	6	9	1	9	3	56	9	8		2					6	2		2	1			19	49	108

電子技術科は、急速に進歩する電子科学の基礎を学ぶとともに、より高度で緻密さを必要とする実際的な技術を実験実習によって習得させ、将来の中堅技術者の養成をめざしている。

私達のまわりには電気に関係のある機械や器具がとりまいています。科学と技術の進歩によって、電子技術の発達はめざましく、私達の日常生活と電子の技術は切り離せないものとなって来ました。電子計算機や人工衛星がうみだされ、身近な生活の中にもラジオ、テレビとあらゆる機器に電子技術は応用されます。現代は、まさに、エレクトロニクスの時代と言えます。

本科独自の教育としては、**電子計算機**を導入してプログラマー、オペレーターの養成訓練を行ない、又**電子機器**部門に関しては、最新の機器組立設備を導入して、ラジオ、テレビ等の生産実習により、複雑な技術の全容を学習させ、社会に出てすぐ役に立つ技術を身につけさせていることである。

### 専攻コース

- 電子計算機コース
- 電子機器コース

2年次より適性、希望等によりコース別の学習を行なう。

### 取得できる資格

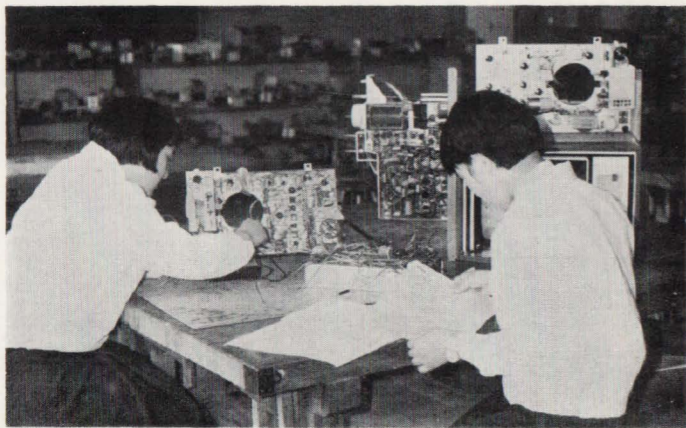
- アマチュア無線士 2級・1級
- テレビ修理技術士
- 計算尺検定 3級・2級・1級

### ◎進路

各種弱電機器のメーカーの生産管理、検査、調整、技術部門、電子計算機を導入している各種企業・官庁・研究所・病院等のプログラマー、オペレーターなどである。



電子実習 (ラジオ製作)



電子実習 (テレビ製作)



電子計算機実習



基礎実習

### 電子技術科教育課程

		一般科目							工業科目										全教科合計					
		国語	社会	数学	理科	保健体育	芸術(音楽)	外国語(英)	特別活動	電気理論	電子計測	電子回路	電子制御	生産管理	電子技術活用	電子計算機概論	基礎計測	高周波計測		電子機器	電子製作	電子計算機	工業教科合計	
電子計算機コース	一年次	3	3	5	6	3	1	3	1	25	5			2				2		2		11	36	
	二年次	3	4	4		3		3	1	18	3	2	3		2			2	3		3	18	36	
	三年次	3	2	3		3		3	1	15		2	3	3	2	2		3		3	3	21	36	
	計	9	9	12	6	9	1	9	3	58	8	4	6	3	4	2	2	5	2	3	2	6	50	108
電子機器コース	一年次	3	3	5	6	3	1	3	1	25	5			2				2		2		11	36	
	二年次	3	4	4		3		3	1	18	3	2	3		2			2	3		3	18	36	
	三年次	3	2	3		3		3	3	15		2	3	3	2	2	3			3	3	21	36	
	計	9	9	12	6	9	1	9	1	58	8	4	6	3	4	2	2	3	2	3	3	8	50	108

**衣・食・住。** 私たちの日常生活に必要なすべてのものは、色や香・味・あるいは固さや感触など、さまざまな性質や形などの化学的な組合せによってできています。本校の**工業化学科**では、いろいろな製品や原料が何からできているか（定性）、どのくらい入っているか（定量）を試験する“分析”の技術をはじめとして、実際にいろいろな物質の化学変化を応用して新しい製品をつくりだしたり、又試験技術の習得をめざして、他校に類を見ない、化粧品・医薬品・衛生品・繊維・染色等の学習と共に、機械を利用して行なう、機器分析の操作等の技術を実験を通して養っている。

化学時代と言われる今日、工業化学の分野において、女性技術者は、ますます不可欠となって来ている。化学知識と共に繊細、緻密、器用さ、忍耐強さを必要とするこの分野では、女性が男性よりもはるかに適しているからである。現在大きな会社工場等には、製品開発の研究室や試験室がおかれ、さらに病院、保健所、警察署等にも検査室、研究室があり、女性技術者の進出はめざましいものがある。本校の場合、本学科卒業生に対する求人はトップをしており、年々増大の一途をたどっている。又、卒業時には**毒物劇物取扱者**の資格が取得でき、農協、薬局等で毒物劇物の販売ができる。

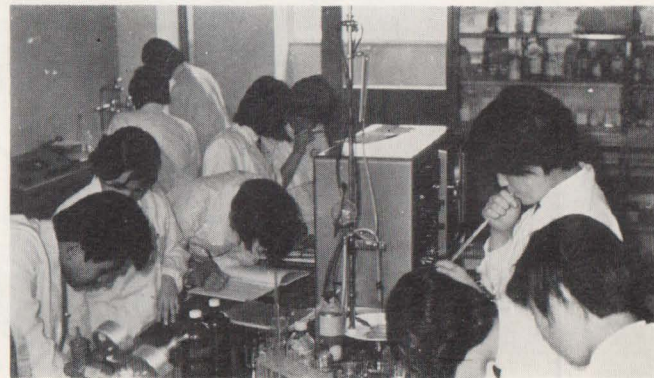
## 専攻コース

- 化粧品コース
  - 衛生試験コース
  - 染色コース
- 能力、適性、希望等により  
コース別の学習をする。

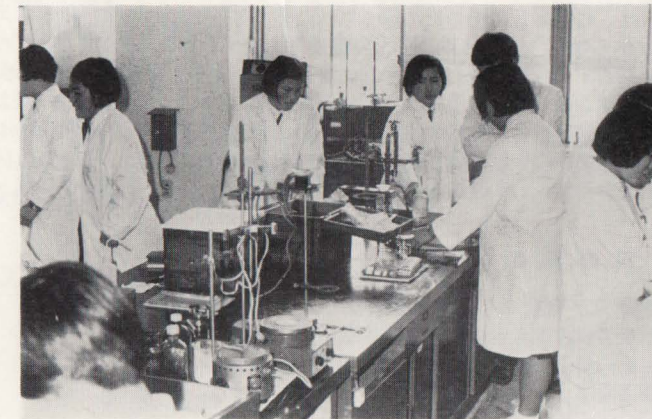
## 機器実習

## ◎進路

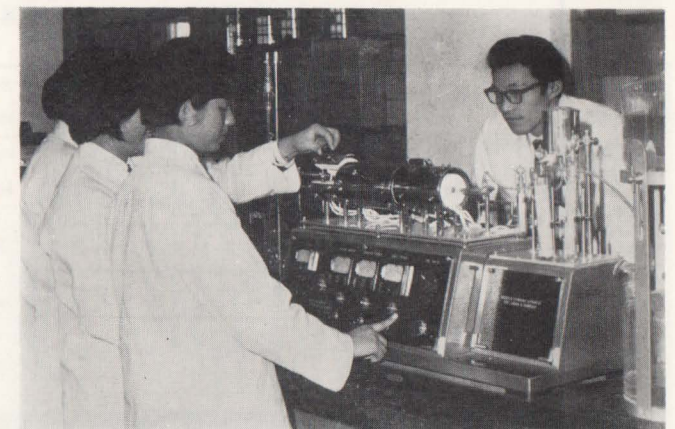
食品製造会社、化粧品会社、製薬会社、化学工業会社、石油化学工業、繊維会社、染色会社、電気メーカー等の製造技術関係や、各種研究所、病院、農協、薬局



天びんの操作



定量分析実習



機器実習

## 工業化学科教育課程

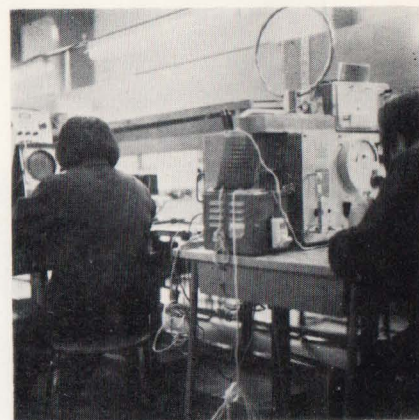
	一般科目						工業科目											単 位 合 計								
	国語	社会	数学	理科	保健体育	外国語(英)	特活	合計	工業化学実習	製機工業化学	無機工業化学	有機工業化学	工業物理化学	工業化学演習	機械・電気	化学工業試験	化学工学		繊維化学	染色理論	色素化学	衛生試験法	化粧品化学	有機化学	合計	
染色コース	一年次	3	3	5	7	3	1	3	1	26	5	2	3											10	36	
	二年次	3	4	3	2	3	3	1	19	7			4	4	2									17	36	
	三年次	3	3	2	3	3	3	1	15	8						2	2	3	2	2	2	1		22	37	
	計	9	10	10	9	9	1	9	3	60	20	2	3	4	4	2	2	2	3	2	2	2	1	49	109	
衛生試験化粧品コース	一年次	3	3	5	7	3	1	3	1	26	5	2	3											10	36	
	二年次	3	4	3	2	3	3	1	19	7			4	4	2									17	36	
	三年次	3	3	2	3	3	3	1	15	8						2	2	3					2	2	21	36
	計	9	10	10	9	9	1	9	3	60	20	2	3	4	4	2	2	2	3				2	2	2	48

この学科は、42年4月に新たに設けられた修業年限2年の電子技術コースである。この科の特色は“働きながら学ぶ”という画期的な制度をうちたてたことにあり、昼間の生産実習により、トランジスタラジオ・テレビ等の生産を通して電子技術の実際を学ぶとともに学費の支弁ができることである。本科には、最新式の電子機器生産設備が設置されており、卒業時には、企業による技術再教育の必要のない熟練技術者の育成をめざしている。普通教科及び工業専門教科は、夜間の学習により、電子技術の基礎並びに一般教養を身につけさせるようにしている。又、この科は、**全寮制度**により、規律ある生活を通して、女性技術者としての豊かな教養と人格の形成を目標としている。

◎ この科の特典

1. 学費及び寮費は生産実習の対価としてこれを免除する。
2. 生産実習の度合いにより月手当若干を支給する。
3. 生産に要する作業衣等はこれを貸与する。
4. 卒業後は、一流電子メーカーに就職を保証する。

	一般科目				専門科目			
	英 語	数 学	音 楽	倫 理	電 気 社 論	電 子 管 理	電 子 実 習	特 別 教 育 活 動
1年	2	2	2	1	2	2	1	2
2年	2	2	2	2	2	2	1	2



実習工場で生産実習

本校に昭和42年度より新たに設けられた課程である。この課程は通常の課程に通学できない生徒の為に、技術教育の道を開こうとするものである。

この通信教育部の特色は、日本女子工業高等学校の最新の施設設備を開放して、スクーリング（面接授業）が、毎月1～2回（日曜日）受けることができるように配慮されていることである。従来の通信教育は、スクーリングが夏期等、一定の期間に集中して長期にわたって行なわれ、その受講は困難を来たしていたが、本校通信教育部では、この弊をなくし、同時に技術教育の徹底を期し、4年間の課程が無理なく受けられるようにされている。

○ 次のような方におすすしします。

- (ア) 新しい技術（製図、基本的デザイン、レタリング、電子技術等）を身につけたい人。
- (イ) いろいろの事情で通学に困難な人。
- (ウ) 修学の時期を逸した人。年齢は問いません。
- (エ) 職業上または、教養のために、特技を身につけ技術を日常の生活の中に生かしたい人。
- (オ) 他の定時制・全日制高等学校を中途退学し、高等学校を卒業したい人。

製図デザイン科教育課程

<注>

1. 添回は添削回数
2. 面時は面接授業時数
3. 学習方法  
自学自習——添削（レポート・作品提出）——面接授業（月1～2回登校授業・年間20日・日曜又は休日）

教科	科目	単位	工業科目										特別教育活動																			
			現 代 語	古 典 語	倫 理 社 論	日 本 史	地 理	数 学	応 用 学	物 理	化 学	保 健		芸 術	外 国 語	普 通 科	製 図	レ タ リ ン グ	色 彩	平 面 造 型	立 体 造 型	デ ザ イ ン	電 子 実 習	工 業 科 計	工 業 科 計							
第1年	単位	2	7	2	2	2	3	2	5	3	3	3	7	2	6	3	50	3	9	3	3	4	4	2	2	5	35	85	50H			
第1年	添回	6																														
第1年	面時	2																														
第2年	単位	2							2	2	3	2	2	13																		
第2年	添回	6							6	6	9	2	10	39																		
第2年	面時	2							2	2	12	20	8	46																		
第3年	単位	2	1	2							3	2	1	13																		
第3年	添回	6	3	6							9	2	3	39																		
第3年	面時	2	1	2							3	20	1	37																		
第4年	単位	1	1	2										6																		
第4年	添回	3	3	6										16																		
第4年	面時	1	1	2										15																		

電子技術教育科課程

教科	科目	単位	工業科目										特別教育活動																					
			現 代 語	古 典 語	倫 理 社 論	日 本 史	地 理	数 学	応 用 学	物 理	化 学	保 健		芸 術	外 国 語	普 通 科	電 子 実 習	電 子 管 理	電 子 計 測	自 動 機 器	工 業 科 計	工 業 科 計												
第1年	単位	2	7	2	2	2	3	2	5	3	3	3	7	2	2	3	46	10	4	8	6	4	2	5	39	85	50H							
第1年	添回	6																																
第1年	面時	2																																
第2年	単位	2							2	2	3	2	11																					
第2年	添回	6							6	6	9	2	29																					
第2年	面時	2							2	2	12	20	38																					
第3年	単位	2	1	2							3	2	11																					
第3年	添回	6	3	6							9	2	29																					
第3年	面時	2	1	2							3	20	29																					
第4年	単位	1	1	2									6																					
第4年	添回	3	3	6									16																					
第4年	面時	1	1	2									15																					

4. 特科生で卒業を希望しない人は表中随意の科目を履修することができます。
5. **集団入学**  
同一職場同一地域に多数の入学者あるときは、其職場または地域の施設を用いて本校教員が出張して面接授業を行うことがあります。
6. スクーリングは  
福島高等予備校  
福島市春日町13-42  
TEL (34) 1497  
日本女子工業高等学校  
郡山市大槻町担ノ腰2  
TEL (大槻) 105  
及び集団入学をした各職場で行ないます。





入学式風景

日本女子工業高等学校

- ① 募集人員  
 製図デザイン科 135名  
 電子技術科 135名  
 工業化学科 90名
- ② 入学試験  
 (イ) 特別選考—学校推薦  
 昭和45年1月中旬  
 (ロ) 専願選考—学校推薦  
 昭和45年1月下旬  
 (ハ) 一般選考—筆記、面接  
 昭和45年2月初旬

- ③ 試験場  
 郡山市、福島市、いわき市、会津若松市、他
- ④ 出願手続  
 入学願書、調査書、受験料

- ⑤ 生徒寮  
 収容人員 530名  
 食堂、浴室、その他諸設備完備  
 遠隔地よりの入学生は、全員入寮できます。

日本女子工業高等学校 技能科

- ① 募集人員 電子技術コース 90名  
 ② 出願手続 入学願書、調査書、受験料  
 ③ 試験 昭和44年11月上旬 面接及び適性テスト  
 ④ 試験場 本校(郡山市)  
 ⑤ 学費 学費、寮費免除

日本女子工業高等学校 通信教育部

募集人員

	本科(4年課程)	特科(2年課程)
製図デザイン科	100名	50名
電子技術科	100名	50名

学校生活あれこれ



クラブ活動

国旗掲揚



スクールバス



体育館でのクラブ活動



浜路キャンプ場